

【自主シンポジウム6】

障がい者就労支援における「働く態度」の獲得に向けた支援
-施設体系の機能分化の視点から-

【話題提供2】

働く態度のチェックリストの作成と活用

小笠原 拓

(株式会社ドコモ・プラスハーティ)

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

「態度の6領域」
(菅野,2015)



職業態度支援チェックリスト(仮)
(第3版)

○チェックリストの目的

- ・支援の視点づくり(支援の具体的な内容と評価基準)
- ・教育・福祉・労働にまたがる共通の評価項目づくり

○チェックリストのコンセプト

- ・幅広い対象に汎用
(幼児期～成人期、重度～軽度知的障がい、発達障がい・精神障害)
- ・支援の対象者像や支援段階・方法の明確化

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

態度の6領域(菅野,2015)

「階層構造」とは・・・

- ⇒階層は必然的かつ普遍的な順序性を示す
- ⇒高次の階層は低次の階層が備える性質を持ちつつ、新たに特有の性質を持つ

支援対象者の実状に応じた
段階的な支援を検討することが可能

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

態度の6領域(菅野,2015)

「階層構造」とは・・・

- ⇒階層は必然的かつ普遍的な順序性を示す
- ⇒高次の階層は低次の階層が備える性質を持ちつつ、新たに特有の性質を持つ

支援対象者の実状に応じた
段階的な支援を検討することが可能

Q. 具体的には何の“段階”なのか？

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

態度の6領域(菅野,2015)

解釈の視点(＝支援の視点)

○どんな人に、

⇒「**社会性の発達**」の段階

○どのように支援をして、

⇒「**“はたらく”の提供方法**」の段階

○どうなって欲しいか

⇒「**支援の目標**」の段階

臨機応変、自己改善力

柔軟性

効率性

安定性、確実性

責任性

継続力、集中力、粘り

自主性、主体性

積極性

自覚性、自立性

根拠、手帳書、目標表、配置図

受容性

スケジュールに従う、規律を守る

指示に従う、報告

達成感、成就感、

喜び、相手に向かう

快・不快、相手に向かう

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

・「社会性の発達」の段階

○「**道徳性発達理論**」(Kohlberg, L.)

⇒Piagetの「**認知的発達理論**」に基づく

⇒「**役割取得能力**」の発達段階

○「**心理社会的発達理論**」(Erikson E.H.)

⇒精神分析に基づく「**自我発達理論**」

⇒ライフサイクルにおける「**発達課題**」を提示

※2つの理論は「発達の必然性・普遍性に言及している点」、「発達
は他者-社会との相互作用のなかで表れるとしている点」において
類似性が指摘されている。

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 普遍的な倫理原則

5. 規律的な良心

4. 社会システムに対する責任

3. 対人的同調、「良い子」への志向

2. 個人主義的な道徳性

1. 他律的道徳性

0. 自己中心的判断

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 普遍的な倫理原則

5. 規律的な良心

4. 社会システムに対する責任

3. 対人的同調、「良い子」への志向

2. 個人主義的な道徳性

1. 他律的道徳性

0. 自分の欲求判断

～4歳前後

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 普遍的な倫理原則

5. 規律的な良心

4. 社会システムに対する責任

3. 対人的同調、「良い子」への志向

2. 個人主義的な道徳性

1. 権威者からの罰回避

5歳前後

0. 自分の欲求判断

～4歳前後

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 普遍的な倫理原則

5. 規律的な良心

4. 社会システムに対する責任

3. 対人的同調、「良い子」への志向

2. 自分の行動の損得性

小学校低学年

1. 権威者からの罰回避

5歳前後

0. 自分の欲求判断

～4歳前後

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 普遍的な倫理原則

5. 規律的な良心

4. 社会システムに対する責任

3. 身近な人からの「良い子」評価 向

小学校中高学年

2. 自分の行動の損得性

小学校低学年

1. 権威者からの罰回避

5歳前後

0. 自分の欲求判断

～4歳前後

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 普遍的な倫理原則

5. 規律的な良心

4. 社会制度や社会的組織の維持

10代後期

3. 身近な人からの「良い子」評価

小学校中高学年

2. 自分の行動の損得性

小学校低学年

1. 権威者からの罰回避

5歳前後

0. 自分の欲求判断

～4歳前後

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「道徳性発達理論」

(Kohlberg, L.)

Ⅲ. 自律的・原理化された水準

Ⅱ. 慣習的水準

Ⅰ. 慣習的水準以前

「役割取得理論」

(Selman, R.L.)

6. 倫理的原理(正義、公平)

成人早期

5. 人間尊重良心

4. 社会制度や社会的組織の維持

10代後期

3. 身近な人からの「良い子」評価

小学校中高学年

2. 自分の行動の損得性

小学校低学年

1. 権威者からの罰回避

5歳前後

0. 自分の欲求判断

～4歳前後

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「心理社会的発達理論」
(Erikson E.H.)

※初期成年期まで

時期(年齢)	心理-社会的課題	活力	主な関係性
初期成年期 (20-39歳)	親密性 VS 孤独	愛	友だち パートナー
青年期 (13-19歳)	同一性 VS 同一性の拡散	忠誠心	仲間 ロールモデル
児童期 (5-12歳)	勤勉性 VS 劣等感	有能感	地域、学校
幼児後期 (4-5歳)	自発性 VS 罪悪感	目的	家族
幼児前期 (2-4歳)	自律性 VS 恥、疑惑	意思	両親
乳児期 (0-2歳)	基本的信頼 VS 不信	希望	母親

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

社会性の発達段階	役割取得能力(道徳性の判断基準)	心理-社会的課題
協力・協調	人間尊重 普遍的な倫理原理	親密性
柔軟性・多様性	社会システムの維持	自我同一性
責任性	身近な人からの「良い子」評価	勤勉性
積極性	自分の行動の損得	自発性
受容性	権威者からの罰回避	自律感
感受性	自分の欲求	基本的信頼

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

社会性の発達段階	役割取得能力(道徳性の判断基準)	心理-社会的課題
協力・協調	人間尊重 社会全体にわたる普遍的な倫理 普遍的な倫理原理	普遍的な倫理
柔軟性・多様性	社会システムの維持 様々な所属にまたがる公益性	公益性
責任性	所属集団のなかでの 身近な人からの「良い子」評価 義務感	義務感
積極性	自分の行動の損得 身近な仲間からの評価意識	自発性
受容性	支援者とのやり取りにおける規範意識 規範からの罰回避	自律感
感受性	自分の欲求 特定の支援者との基本的な信頼関係	基本的信頼

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

社会性の発達段階

役割取得能力(道徳性の判断基準)

心理-社会的課題

協力・協調

柔軟性・多様性

責任性

積極性

受容性

感受性

社会全体にわたる普遍的な倫理

人間尊重

自律的な社会性

様々な所属にまたがる公益性

⇒「構造化を脱する」なかでの

獲得・形成

身近な人からの
「良い子」評価

身近な仲間からの評価意識

自分の行動の
損益

他律的な社会性

支援者とのやり取りにおける規範意識

⇒「構造化した環境」における

獲得・形成

特

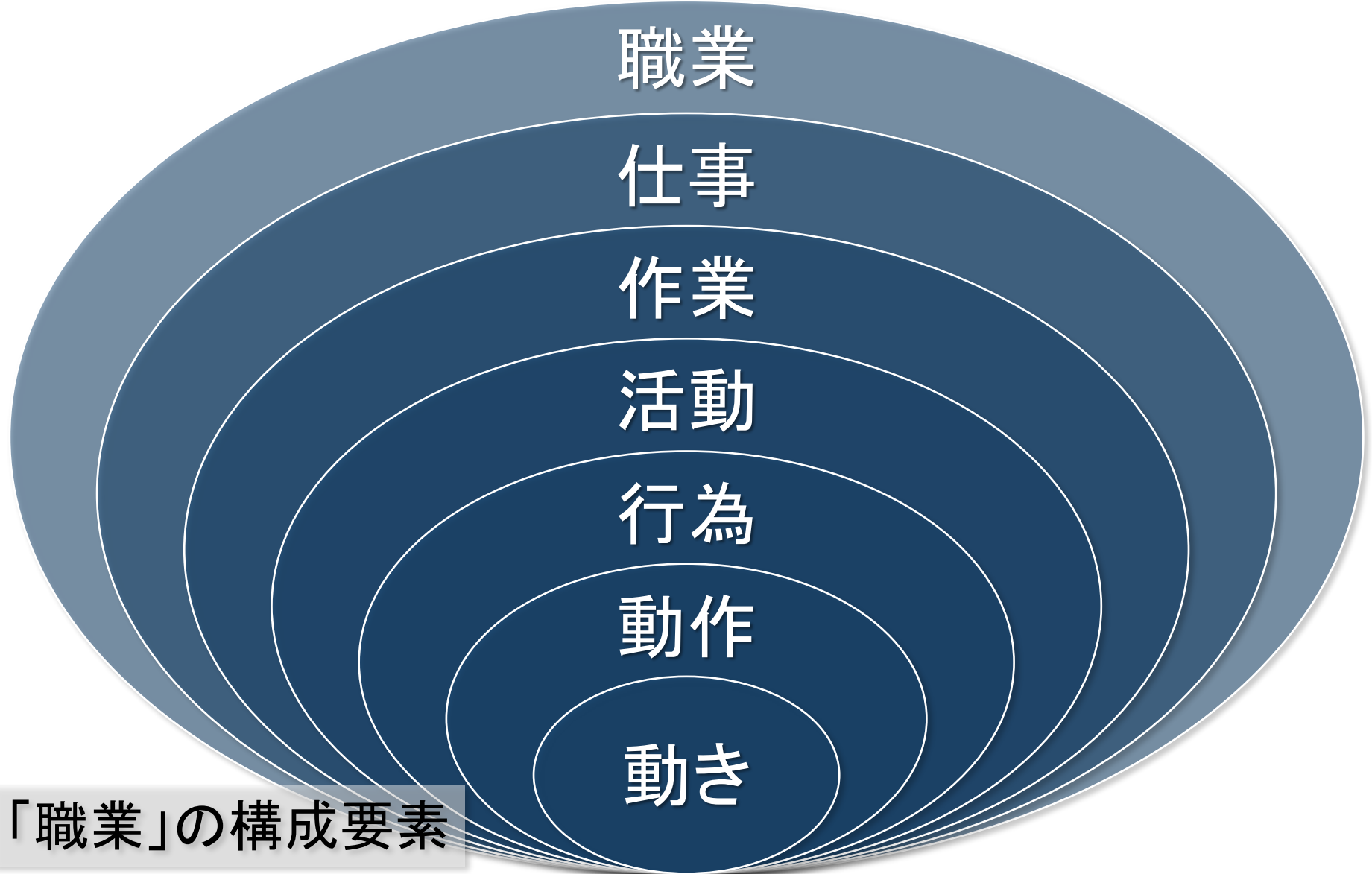
場

の基本的な信頼関係

基本的信頼

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈



「職業」の構成要素

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

「職業の構成要素」を
意思・判断の水準によって
整理する

⇒態度の6領域における
「“はたらく”の提供方法」
の段階を考察

職業

生計を維持するために、日常従事する仕事
(社会的な価値づけの意味合いを含む)

仕事

(project)

何かを成し遂げ、価値を届けるための行動
(複数の作業による協働作業)

作業

(task)

課題達成のための活動のまとめり
(困難な状況を伴う)

活動

状況判断や手順を伴う行い

行為

意思や目的を持った行い

動作

事を行うために体を動かすこと

動き

体が動いている状態

「職業」の構成要素

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

社会性の発達段階

“はたらく”の提供方法

協力・協調

社会全体にわたる普遍的な倫理

様々な他者との
協働作業

柔軟性・多様性

様々な所属にまたがる公益性

責任性

所属集団のなかでの義務感

仲間との共同作業

積極性

身近な仲間からの評価意識

作業

受容性

支援者とのやり取りにおける規範意識

活動
個人による行為・活動

感受性

特定の支援者との基本的な信頼関係

動き・動作・行為

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

・「支援の目標」の段階

⇒その指標として・・・

○「自己実現理論」(Maslow, A.H.)

「自己実現」: 自分の可能性や潜在能力を発揮していこうとする、成長過程そのものであり、その変化や成長を通じて、社会性や他人の利益をも含んでいく

⇒自己実現に向けた欲求の相対的・段階的な階層性を提唱

⇒「いかなる人間も、健全な方向に向かう積極的意志・可能性追求の推進力を備えている」という人間観を背景にしている

※※Kohlbergの「道徳判断の段階」との並行性が指摘されている (Daniels, 1984)。

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

・「支援の目標」の段階

⇒その指標として・・・

○「自己実現理論」(Maslow, A.H.)

「自己実現」: 自分の可能性や潜在能力を発揮していこうとする、成長過程そのものであり、その変化や成長を通じて、社会性や他人の利益をも含んでいく

⇒自己実現に向けた欲求の相対的・段階的な階層性を提唱

⇒「いかなる人間も、健全な方向に向かう積極的意志・可能性追求の推進力を備えている」という人間観を背景にしている

「階層構造」は支援対象者の価値を相対的に評価するものではなく、成長への意思・推進力のためのマイルストーンと捉える

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

	社会性の発達段階	“はたらく”の提供方法	支援の目標
協力・協調	社会全体にわたる 普遍的な倫理	様々な他者との 協働作業	自己実現 自己の確立と 可能性の追求
柔軟性・多様性	様々な所属にまたがる 公益性	仲間との共同作業	承認
責任性	所属集団のなかでの 義務感		自己効力感の獲得
積極性	身近な仲間からの 評価意識		愛と所属
受容性	支援者とのやり取りにおける 規範意識	個人による行為・活動	物理的・精神的な 安定
感受性	特定の支援者との基本的な 信頼関係		生理的/安全

話題提供2: 働く態度のチェックリストの作成と活用

チェックリストの作成に向けて・・・「態度の6領域」の解釈

社会性の発達段階

“はたらく”の提供方法

支援の目標

協力・協調

柔軟性・多様性

責任性

積極性

受容性

感受性

社会全体にわたる普遍的な働き方
様々な他者との関係性
自己実現
自己の確立と
他者との関係性
具体的な対象者像・支援方法・目標を想定し、
「働く態度」のチェックリスト(仮)を作成していく

- ・協力・協調・・・・・・・・23項目
- ・柔軟性・多様性・・・23項目
- ・責任性・・・・・・・・13項目
- ・積極性・・・・・・・・22項目
- ・受容性・自律性・・・16項目
- ・感受性・・・・・・・・23項目

所属集団のなか
義務感
身近な仲間から
評価意識
支援者とのやり取り
規範意識
個人による行為・活動
特定の相手との
信頼関係
効力感の獲得
愛と所属
社会的・精神的な
安定
心理的安定

項目内容の妥当性についての調査・分析



ご清聴ありがとうございました。

